

令和4年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	安来市再生可能エネルギー地産地消ビジョン策定事業	
補助事業者名	安来市	
補助事業の概要	本市は「化石由来のエネルギーを市外から調達する」構造であり、多くのCO2排出とエネルギー代金の市外流出を招いている。この状態から脱却するため、各ステークホルダーにヒアリング調査を実施するなどした上で、中期的な指針となる再生可能エネルギー地産地消ビジョンを策定する。	
総事業費	9,603,000円	
補助金充当額	9,603,000円	
定量的目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョン策定にあたり、下記の項目を検討、実施する。 A) 第2次安来市地球温暖化対策実行計画区域施策編の詳細分析 B) 公共施設に設置する再エネ種別の検討 C) エネルギーの活用策検討 D) 地域新電力設立の検討 E) 設備設置、メンテナンス時の地域経済循環率向上の検討 F) 民間の再エネ設備新設に係る地元との合意形成支援 G) 委員会の開催 H) 策定、公表 ・外部有識者等を交えた委員会を3回以上開催した上で、令和4年度末までにビジョンを策定し、公表する。 	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<ul style="list-style-type: none"> ・上記A～Hについて検討、実施した上でビジョンを策定した。 ・ビジョンづくりの過程を情報発信（第2回委員会を地元ケーブルテレビが取材、全5回シリーズで市報に連載）したことで、ビジョンづくりに携わっていない市民等の理解促進にもつながった。 ・策定したビジョンを市ホームページで公開した。今後、市民、事業者、行政が同じ認識を持って再エネ地産地消に取り組む指針として有益であった。 	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	上記A～Hの実施
	契約の方法	一般競争入札
	契約の相手方（間接補助先）	株式会社エブリプラン安来営業所
	契約金額（間接補助金額）	9,603,000円

来年度以降の事業見通し	<p>令和5年度は、策定したビジョンに基づき、社会実装の第一歩を踏み出すことと、効果を最大化させるための調査・研究を実施する。発電分野のF/S調査、熱利用分野の実証事業、理解促進のための調査等を行う。</p> <p>令和6年度以降は、発電分野のF/S調査に基づく詳細設計、設備設置、勉強会等を実施する。</p>
-------------	---

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。